



広報 利尻

人口と世帯数

世帯数	1,516
人口	6,895
男	3,463
女	3,432
昭和50年1月1日現在 (住民基本台帳登録人口)	

昭和50年1月20日発行

発行者 利尻町役場 新年号



とじ
保存しましょう。

利尻町民憲章

- 一、元気で働き、豊かな産業のまちをつくりましょう。
- 一、きまりを守り、明るく住みよいまちをつくりましょう。
- 一、文化を高め、平和なまちをつくりましょう。
- 一、自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- 一、未来をつくる、子どものしあわせなまちをつくりましょう。



,50

新しい年の始めに

利尻町長 小田 桐 清 実



みなさん、あけましておめでと
うございます。

お元気で、新年を迎えられたこ
とと拝察しお喜び申し上げます。

昨年は、国においても、総需要
抑制という緊急政策を取り、物価
の安定、景気の過熱を防ぎ、経済
を鎮静させる方針を打ち出したた
め、その影響を受けて、わが利尻
町でも公共事業の伸び悩みはあり
ましたが、国や道の支持を得て、
水道や町民屋内運動場、杏形寿の
家など、公衆衛生、体育、老人福
祉の施設などを建設することが出
来ました。

一方、町内の産業を見るに、コ
ンプ、ワカメ、アワビなどの漁獲
物に乏しく、ホツケ、スケソウダ
ラのような多収獲魚は値段が安く
大漁貧乏の名が罷り通り、漁民に
とっては暗い年であり、出稼ぎ者
が大量に道外へ流出し、過疎化現
象を呈して一抹の淋しさを感じた
次第であります。

また、町長選挙が八月、町議会
議員の選挙が九月に行われました

が、私は住民の支持を得て四期町
政担当の重責を担うことになり、
年頭にあたり、いよいよその責任
の重大性を痛感しています。

昭和五十年は、昨年暮れの政変
の後をうけた三木総理がどのよう
な政治路線を歩み、経済政策を考
え、外交問題を処理するかによつ
て、地方政治、或いは行政に直接
間接に影響を及ぼし、ひいては住
民の生活を左右することになるの
で、願わくば旧套を脱して、名実
共に清潔で正しく、明るい政治の
転換を望んでやみません。

もとより、町政も同じように清
潔で信頼されるものでなければな
りません。

新しい年を迎え、心も新しく、
真に輝かしい、明るい昭和五十年
でありたいと念願しております。

さて、今年は何にをなすべきか
については、さきに町で衆知を集
めて作成した「利尻町総合振興計
画」に基づく年次計画を着実に実
行することにあるが、社会情勢或
いは経済事情の変化に対応して若

干の手直しや、年次の順序に変化
があると思われるが、国の財政事
情が極めてきびしく、その影響を
受けて、町村財政も危機に直面す
るものと予測され、容易ならざる
ものがあります。

したがって、経費を効果的に使
用し、買費を省き、つとめて住民
福祉の経費に振り向けねばなりませ
ん。

わが利尻町の今後の課題として
は、なんとと言っても地場産業の振
興を図ることにあると思います。

そこで昨年は仙法志地区にコン
ブ等の採苗施設をつくりましたが
今年度は冷凍施設をつくり生鮮魚
の貯蔵を図り、魚価安定の一助た
らしめ、併せて加工業の振興に寄
与させたい方針であります。

杏形地区については武蔵堆にお
けるマグロ漁業対策として製氷冷
凍施設を考えており、資金獲得に
困難はあるが、早期実現を期し、
漁家経済の安定を図る所存であり
ます。

出稼対策や後継者づくりなど緊
迫した問題が山積していますが、
これは限られた僅かな資源と、限
られた漁期、漁具類をどのように
して附加価値を高めるかについて
は、みんなで考え、みんなで工夫
して、人と力を合わせて「我々の
仕事」としてこれに取り組むグル
ープがあれば、町においては協力
を惜しまない積りでいます。

いかに立派な政策を掲げても全
部が町の仕事として公営でやれる
ものではありません。

あらゆる生産手段を公営化する
ことになれば、共産主義国でなけ
れば出来ないことであり、自由主
義的経済組織のもとでは、やはり

一人一人が、その能力に応じて仕
事を選択すべきものであり、地方
自治体はいわゆる公共の事業を行
なう機関であるから、自ら範囲が
きまつており、公共性の強いもの
が優先するものであるから、なん
と言つても住民の意欲と協力がな
くしては実現が出来ません。

その意味において産業経済団体
の自主的な活動を期待してやみま
せん。

昨年、多年の宿願であつた国立
公園昇格が実現し、名実共にその
声価を高めました。これにこた
えて自然保護のための行政にも重
点をおき、自然と人間生活との調
和を図り、併せて自然環境の充実
に努めたいと思います。

又、食糧危機が叫ばれている折
柄でもあり、野菜類だけでも自給
体制を推進して参りたいと存じま
すので、こうした面にも住民の協
力を望む次第であります。

皆さんから望まれている問題は
山積していますが、一方財政の面
では昨年度同様、かなりきびしい
抑制政策が取られることが予想さ
れますが、住民生活につながる問
題については極力その実現に挺身
する所存であります。

要は、私の町政に対する姿勢に
あると思えますので、常に住民と
共に在ることを忘れず、誠心誠意
その事にあたり、しかも清潔で、
明るい町政を推進してゆく積りで
覚悟を新たに、住民の支持と
負託にこたえ、有終の美を飾るべ
く粉骨砕身致しますから、住民の
みなさんもお見捨てなく、御庇護
を賜わらんことを切望して新年
ごあいさつに代えさせていただきます
今年もどうか、健康で、御多幸
でありますようお祈りします。

年頭のことば

利尻町議会議長 惣万惣市

町民のみなさんには、つつがなく新春を迎えられたことと存じます。

新しき年の初めにあたり謹んで挨拶を申し上げます。

昨年は、町長並びに町議会議員の選挙の年に当っておりましてわが町政の伸展のために、力いっぱいのご協力を賜わり、まことに感謝に堪えないところであります。

さて、昨年は昭和四十八年よりの石油ショックによって、諸物価は高騰し、一時品不足によつて買だめ等悪条件が重なり、わが国経済もインフレに移行せざるを得なくなりました。

これは我が国ばかりでなく諸外国も例外ではありません。イタリヤ、フランス、イギリス等、政変に結びつくまでの深刻さであります。

高度成長時代の消費は美徳なりとの感覚から、いくばくもなく今度は節約が美徳に急転したのは事実であります。

この経済の混沌とした状態の見通しを、学者の中には諸原料の輸入をもつて成り立っている我が国の将来を非常に悲観的にみている者と、日本人は逆境には強く難関に遭遇するとこれ乗り越えていく、順応さす英知をもつていると見る者と二様であります。

私は後者をとりたいと思います



しかしながら、現状の如き状態の中での自治体としては、産業基盤整備も亦容易でないことは事実であります。苦しくともこれに全力を傾けなければなりません。そして、地域格差の根本をなす離島航路運賃割増料の全額国費負担の実現にまい進することが、我々離島住民にとつて住みよい豊かな町づくりに直結する所以であると信じます。

本年は以上二点を重点的に、理事者ともども、議会の総力をあげて最大の努力を傾ける所存でございます。

今後も従来に倍したご協力を賜わりますよう心からおねがい申し上げます。

おわりにのぞみ町民みなさんのご健康とご多幸をお祈りして新年のご挨拶といたします。

あけましておめでとうございませう。希望にみちた昭和五十年の新春を迎えみなさまのご健康を心からお祝い申し上げますとともに平素道政に寄せられております深いご理解とご協力に對し厚くお礼申し上げます。

私は当地に着任して以来、みなさんと共に山積する地域課題の解決に取組んでまいりましたが、この間痛感しておりますのは、宗谷は美しい自然環境と豊かな資源に恵まれている反面、道民生活指標、広域生活圏施設整備水準などで示すように、他地域に比べて生活環境面で立ち遅れが生じている



こととあります。

この地域格差を解消するため、昨年は広域生活圏重点整備地域の指定をうけ、町や道の開発事業、補助事業が市町村の策定する具体的な整備計画に基づき、優先的に実施されることになりました。

わたくしは、生活環境と産業基盤の整備に重点を置きながら、公害のない、豊かで魅力ある郷土づくりこそ急務と考えその実現に向け、渾身の努力をする覚悟であります。

ご承知のとおり、水産業と農業は宗谷を支える柱であり、わが国の食糧供給基地としての使命は大きく、深い関心が寄せられている

ところでありませう。

しかしながら、水産業においては、さきの国際海洋法会議でも論議されたように、わが国にとつて漁場がますます狭められる傾向にありますので、浅海増養殖事業を中核として、育てて獲る漁業への転換を図りながら、加工技術の高度化、経営の近代化と共に、漁場保全改良のための施策を強力に推進してまいりたいと思っております。

また農業にあつては、地域の特性を生かした天北酪農畜産の確立をはかるため、草地の造成改良、経営近代化施設の整備強化、高度な技術導入などにより、高生産性農業の展開をはかるとともに魅力

年頭のあいさつ

宗谷支庁長 坂本富士郎

ある安定した産業に定着するよう長期的展望に立つた施策を講じなければならぬものと存じます。

つきに地下資源の開発については、埋蔵量十億トンと推定されている石炭をはじめ、エネルギー危機にまつて見直されてくる資源の開発と効果的な利用に心がけ、管内の重要な産業の一つとして振興する所存であります。

生活福祉の充実につきましては医療対策をはじめとして、教育、文化、老人、児童、幼児などと多岐にわたつて生活環境上の施設の整備充実が叫ばれており、課題が山積しております。

特に離島対策は、離島ゆえに持

つ特殊事情を一日も早く解消するため、交通網の整備と産業の振興を図り、離島振興対策事業などをより効果的に活用して、オホーツク沿岸の結水対策と共に最善の努力をしてまいります。

当地域は北国特有の美しい自然に恵まれており、昨年九月には、学術的にも貴重な動植物の宝庫であるサロベツ原野を含めて「利尻礼文・サロベツ国立公園」が誕生し全国的に脚光を浴びています。

このかけがえのない天与の財産を保護し、後世に受け継ぐと共に訪れる観光客の受入れ体制にも万全を期していきたいと思っております。当地域の特性を十分に発揮し、

豊かな生活が約束される時代を築くためには、宗谷のこの大地に豊饒なる未来像を描き、次の世代が育つ土壌を残すことが必要だと思います。

その実現のため、みなさんと共に手をとりながら着実に構築するのが私の使命と肝に銘じあらゆる機会を通じて、みなさまの卒直な声を聴き道政に反映させていく所存でありますので、貴重なご意見やご要望をお寄せくださるようお願いしてまいります。

年頭にあたり所信の一端を述べ併せて、みなさまのご多幸を心からお祈り申しあげまして、新年のご挨拶といたします。

年頭にあたって

北海道知事 堂垣内尚弘



道民のみなさま、明けましておめでとうございます。
昨年の本道は、激動する内外情勢の大きな影響を受け、産業経済をはじめ道民生活もかつてない厳しい環境におかれました。

私はこの異常事態に対処し、道民の不安をなくし、生活の安定を図ることが何よりも先決と考え、道政の及ぶ限りの諸施策の実行につとめてまいりました。特に、道民の冬の生活に欠かすことのできない灯油の価格については、関係者のご協力により値下げを実現できましたが、今後とも道民生活に密着する問題について全力を傾けその解決をはかつていく考えであります。

また、農業におきましては、幸いにも水稲が史上最高の収穫を記録するなど、三年連続の豊作となりましたことには、まことに喜びにたえない次第であります。

さらに九月には、北方の風土にふさわしい豊かな生活環境をつくり上げるため、北方圏地域各国代表の参加を得て、北海道で初めての国際会議として「北方圏環境会議」を開催したのであります。私はこの会議の数々の成果を道政の上に生かし、道民のみなさまとともに、北海道の明るく豊かな未来の創造に力強く邁進したいと考えております。

ご承知のように、世界的なエネルギー危機、食糧不足の問題を契機として、国内において最も食糧エネルギー資源に恵まれていること、かつ、雄大で美しい自然を有していることなど、北海道に対する期待がいまや全国的に急速に高まってきております。

私は、このようなすぐれた多数の特性を持つ北海道こそ、我が国における唯一の希望の大地であることを確信しております。

今後とも、この特性を生かし、北海道としての個性豊かな発展をはかり、食糧基地の確立、エネルギー資源の開発利用、無公害工業の育成、国民保養基地の建設、すぐれた教育の場の確立、北方圏との交流促進などの諸課題と真剣に取り組み、道民の生活、福祉の一層の向上をはかつてまいりたいと存じます。

私は、知事就任以来「すべての道民のための道政」「あらゆる地域のための道政」「道民とともに

年頭のごあいさつ

利尻礼文消防事務組合消防長 不破保

明けましておめでとうございます。
昭和五十年の新春を迎えるにあたって、ひとことごあいさつを申し上げます。

ご承知のとおり利尻両島民の、長年の念願であった、国定公園より国立公園への昇格も昨年九月二十日付で、利尻礼文サロベツ国立公園として、国の指定を受け日本最北端の観光地として、全国に名を知られるようになりました事は、町民皆さんとともに御同慶にたえません。

然し反面には年々増加することが予想されます観光客を受け入れるための、施設として国民宿舎を

歩む清潔で明るい道政」を基本理念とし、人間優先、生活重視の道政を積極的に推進してまいつたのでありますが、さらにこの理念に徹し、道民とともに考え、ともに行動する道民主体の道政、公正で明るい道政を確立して、道民みなさまの幸せを高めるために渾身の努力を傾けてまいる決意であります。

昭和半世紀という極めて意義深い年のはじめにあたり、所信の一端を申し上げ、みなさまのご協力をお願い申し上げますとともに、ご多幸とご健勝を祈念し、年頭のごあいさつといたします。
昭和五十年 元旦

始め旅館、民宿、料飲店等数多くある現況において、折角来島される多数の観光客の中で、生命に万一のことがあつては、自然を誇る最果ての夢の浮島も忽ちにして敬遠されてしまいます。そんなことのないように既設のものであれ、新設のものであれこれら施設の消防設備の整備が一段と強化される必要があります。

私達消防の職にあるものは、署員、団員を問わず消防法の第一条に定められております任務、いわゆる消防はその施設及び財産を活用して国民の生命身体及び財産を火災から保護すると共に、水火灾又は地震等の災害を防除し、及び

これらの災害に因る被害を軽減するため、日夜努力を重ねて居るつもりです。
幸いにして、町民各位の消防への理解と協力、並びに署員団員の火災予防、消火への努力の甲斐あつて、利尻町における昨年一カ年の火災件数は僅かに一件、焼失戸数一戸、損害額六百六十万円、前年に比べて件数にして二件、損害額においては参千九百七十万円も減少しておりますことに対して深い敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

又、この裏には常備消防職員の増員、消防設備の近代化充実に困難な町財政の中から多額な消防費の負担にご協力ご理解を賜わつて居ります。町理事者を始め議会その他関係各位に厚くお礼を申し上げますと共に、町民各位にご報告申し上げます。
利尻町における火災も昨年二月以降発生を見ておりません。然し乍ら災害は忘れた頃にやつて来るように言われます。町民各位におかれましては最近の家庭用燃料は油類、プロパンガスと何れも危険なものばかりが多くなつております。この取扱については特段の注意をお願いするものであります

又、消防署員団員のみなさんには火災の消火には勿論、予防消防のための査察、その外山岳遭難の救出等人命救助のため、日夜ご努力なさつておられるご労苦に対して感謝申し上げます、今後共町民の期待に副われん事をお願い申し上げます。

おわりにのぞみ、利尻町民各位消防署員並びに団員各位の、本年のご多幸をお祈りしてごあいさつといたします。

議会だより

第四回定例会

去る十二月二十日、二十一日の二日間役場会議室にて第四回定例会が開かれ審議案件は次のとおりです。

◎利尻町職員の給与に関する条例の一部改正案(第六十三号)

これは、国に準じて町職員の給料、手当などの改定をしたものです。

◎特別職の給与に関する条例の一部改正案(第六十四号)

これは、特別職(町長、助役、収入役)の給料を改定したものです。

◎利尻町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正案(第六十五号)

これは、教育長の給料を改定したものです。

◎利尻町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正案(第六十六号)

これは、議会議員の報酬月額を改定したものです。

◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正案(第六十七号)

非常勤の職員の年額、日額報酬を改定したものです。

◎利尻町監査委員の報酬及び費用弁償条例の一部改正案(第六十八号)

監査委員の年額報酬を改定したものです。

◎利尻町民屋内運動場条例案(第六十九号)

この条例は新しく制定されたもので、あらましをお知らせします

△地域住民の健康及び体位増進に寄与することを目的に設置されたものです。

△名称 利尻町民屋内運動場

△位置 利尻町仙法志字本町八十二番地

△この運動場は、教育委員会が管理することになります。

△屋内運動場又はその備付物件を使用するものは、教育委員会の承認又は許可を受けなければならぬことになっております。

△使用者が次の各号の一に該当するときは、使用を停止し、又は許可を取り消すことがあります。

- 一、この条例、その他これに基づく規定、又は命令に違反したとき
- 二、公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき
- 三、使用許可の条件に違反したとき
- 四、その他教育委員会において必要があると認めるとき

△町民屋内運動場の使用について使用者から使用料を徴収する。

ただし、使用目的が住民の健康体位の向上のために使用されるるとき、又は教育委員会が公益上必要と認めるときは使用料を減免することがあります。

△使用者は建物及び設備をき損し又は減失したときは、その損害を賠償しなければなりません。

◎利尻郡清掃施設組合規約の一部

を変更する規約案(第七十号)

◎利尻礼文消防事務組合規約の一部を変更する規約案(第七十一号)

◎利尻郡学校給食組合規約の一部を変更する規約案(第七十二号)

以上三事務組合の監査委員の任期を三年から四年に改めたもので

◎利尻町砕石事業運営協議会委員の委嘱につき同意を求めらるることに

ついて(第七十三号)

◎利尻町有財産の処分について(第七十四号)

町有財産を利尻、礼文消防事務組合に譲与することにしたもので

- ・車両
- ・水槽付消防ポンプ自動車ほか三台
- ・機械
- ・ラビットB3級 35馬力ほか十七機
- ・備品
- ・消防ホースほか一七一点(署分遣所、団関係)
- ・設備
- ・電話設備 二回線 二機

◎町有財産の無償貸与について(第七十五号)

町有財産を利尻、礼文消防事務組合に無償貸与するものです。

- ・建物
- ・杏形字緑町、署及び第一分団車庫ほか十二棟
- ・構築物
- ・杏形字新湊、防火水槽ほか十一基

◎昭和四十八年度利尻町各会計歳入歳出決算の認定について

- ・一般会計
- ・国民健康保険事業特別会計

- ・国民健康保険施設事業特別会計
- ・砕石事業会計
- ・簡易水道特別会計
- ・国民宿舎特別会計

病院えはじめで受診するときの心得

一、自分からだに異常を感じたのは何月何日ごろからか

二、どこがどんなふうに変であるか

三、たとえば、腹痛があるといつても腹部のどのへんが痛く、食後に痛いか、空腹のときなどを順序よくはつきりといつて下さい

困るのは最初から病名をいひ、さも自分は医学の知識があるのだと、べらべらと話をする人がおられます。これがつしむべきです

又それと反対に、何を聞いてもはつきりしない人もおられます。老人の場合、家族の者がつきそつてくることが理想です

三、過去の病歴をくわしく、ようりようよく、わかりやすく、患者は自分一人でないと言ふ事を考えて子供の頃から現在までにとくに重い病気をしたかどうかを、簡単に話して下さい

いろいろの病気を今日までにしてきているのに、これについて何も言わない人がいます。医師からいろいろ問いただしていくうちに、手術を受けたことや、相当重大な病気がかかったことなどをポツポツ話して下さい。患者は現在の病気に無関係と思つていられるのでは

うが、とんでもないことです。病気の診断をつけるのに、昔の病気が重大な意味をもつていることが多いのです

例えば、若いころ関節が痛くて困つたことがあり、リウマチと医師から言われたことがあるという場合には、現在の心臓がどうきずることもリウマチから起つた弁膜症かと考えられるわけです

又学生時代たびたび扁桃腺をばらして熱を出したことがあり、最近顔がときどきむくむくという場合には腎臓炎がうたがわれる。以前クスリに対して過敏なことがあつたら、これもくわしく医師に知らせましよう

例えばいつカゼをひいて売薬のカゼグスリをのんだ、ところが赤い発疹が体に出てかゆくしてしばらく困つたとか、歯を抜いたら気分が悪くなつて苦しんだことがあつたなど、クスリが注射で具合が悪かつたことがあれば、それを全部のべるべきです

前にかつた病院でのこととくわしく知らせることも大事です

この場合、決して以前にかつた病院の悪口にとれるようなことは言わないことです。これは診察にマイナスであつてもプラスには決してなりません。はじめて診察を受けても、すぐ診断がついて病

気の原因がわかるものではありません。いろいろ検査をしなければわかりません。例えばレントゲン写真をとると、血液尿を調べその結果がわかるのに、数日かかることもあり、あるときは病気の経過を数日間見みねばならないことも多いのです

友人から聞いた話ですが、往診を求められたので忙しい時間をさいて、往診したところ家人が子供の名を呼びおい医者きたぞーと見ると患者である。子供は裏庭

道夫一家 工藤恒美



で元気で遊んでいるのだそうです。この医師の心中想像にあまりありません。子供を病院へつれていけば人手がいるし、車代もかかるので往診してもらえば助かるという言葉でしよう。往診はあくまでも、病人の病状が病院へ行かれないときに限ります。

サイレンを鳴らす 時間の変更について

今まで毎月十五日午後六時に鳴らしていましたが、一月十五日より毎日正午に三〇秒間サイレンを鳴らします。町民皆様のご協力をお願いします。

なお、従来毎月十五日午後六時に鳴らしていましたが、町民皆様のご協力をお願いします。

※生活の一部にしよう 火の点検

◎火事は一一九番へ.....

(利尻礼文消防事務組合)

善意ありがとうございます。

いじやいます。

利尻町杓形字神居
海老名 凌一様
香典返しを廃して愛情銀行に預託されました。

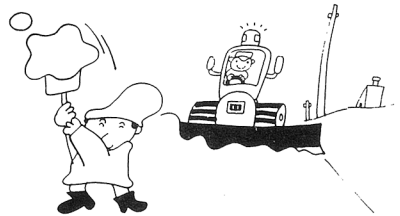
一九七五年 農業センサス 統計調査の実施

来る二月一日現在をもつて、農林省所管で調査が行われることになりました。

この調査は、五年ごとに行われるもので国、道、町の農業行政にかかる諸施策及び農業に關して行なう諸統計調査に必要な基礎資料を整備することを目的とした大事な調査です。

後日、調査員が対象となる世帯を訪問しますのでよろしくご協力をお願いします。

除雪に協力を!!



先日来のドカ雪で特に道幅がせまくなつて居ります。

・道路に雪は絶対に投げ捨てないかうにしてください。
・車の路上駐車は絶対にやめてください。

不便を感じて居ると思いますが、排雪の際は特にご協力願います。

賀正

町民のみなさん
あけましておめでとう

- | | |
|-----|--------|
| 議長 | 惣方 惣市 |
| 副議長 | 牧野 吉太郎 |
| 議員 | 中川 原捨三 |
| | 谷口 稔 |
| | 西島 松雄 |
| | 松野 義男 |
| | 高島 光夫 |
| | 加藤 孝三郎 |
| | 中山 二郎 |
| | 関 直太郎 |
| | 越智 力 |
| | 鎌田 勝男 |
| | 浜岸 正 |
| | 米田 末松 |
| | 原崎 竹治 |
| | 町村 幸司 |
| | 岡山 勇 |
| | 森本 清栄 |
| | (順不同) |

戸籍の窓口より

◆健やかに成育されますよう。

出生児氏名 続柄 父住所
高橋香寿美 二女 貢 御崎
大山 智子 二女 光雄 久連
七尾亜沙子 長女 哲矢 日出町

◆末永く幸せをいのります。

吉田 末雄 (杓形字緑町)
白幡 礼子
菊地 信幸 (杓形字富野)
岡本佳代子

◆故人のめいぶくを祈ります。

田中 正 62才 神磯
蛸崎栄次郎 64才 泉町
沢木 ハツ 82才 栄浜
黒沢 敦子 21才 緑町

※ 12月1日から31日まで
出生 三名
死亡 四名
婚姻 二組

